

名 誉 会 員 追 悼



故 名誉会員 森田 善一郎 先生

社団法人日本鉄鋼協会 名誉会員、大阪大学名誉教授、工学博士 森田善一郎先生は、平成21年2月15日、ご逝去されました。享年80（満78歳）。謹んで哀悼の辞を申し上げます。

先生は昭和28年大阪大学工学部冶金学科をご卒業、昭和34年同大学院を修了され、大阪大学より工学博士の学位を授与されておられます。同年関西大学工学部専任講師に採用され、昭和35年には助教授に昇任されました。昭和41年大阪大学工学部助教授に採用され、昭和48年には教授に昇任され、冶金学科 冶金学第二講座（鉄冶金学）を担当されました。昭和50年からは冶金工学科 冶金工学第一講座（鉄冶金学）を、また昭和63年からは材料開発工学科 材料物理化学講座、同年講座配置換えにより反応制御工学講座をそれぞれ担当され、平成6年定年退官されました。その間、大阪大学国際交流委員会委員、同学術交流部会長、大阪大学留学生センター設置準備委員会委員、工学部留学生相談室長などの国際交流関係をはじめとする各種委員会委員を歴任され、大阪大学の発展に貢献されました。また、工学部 材料開発工学科・材料物性工学科 九十周年記念事業組織委員長として、「材料開発物性記念館」の建設にも貢献されました。退官後直ちに、住友金属工業株式会社 常勤顧問に就任され、平成11年同社 総合技術研究所 非常勤技術顧問となられ、平成13年退職されました。

先生は我が国における鉄鋼製精錬工学ならびに冶金物理化学の先駆的、指導的研究者として広く知られ、その研究分野は多岐にわたっておられました。その主な項目だけをあげますと、鉄鋼製錬反応ならびに鋼の凝固に関する熱力学（鉄鋼製錬時の硫黄の熱力学的挙動、窒化物生成条件・構造の直接同定、合金における溶質元素の固液間平衡分配の熱力学的体系化など）、冶金流体の物性と構造（粘度、密度、表面張力、電気抵抗の高精度測定、模型理論による物性値の定式化・予測、溶融鉄合金のX線・中性子線回折による液体構造の解明と陽電子消滅測定による電子状態の研究など）、インジェクション冶金ならびに溶融還元製鉄に関する基礎研究でありました。これら一連のご業績により、国内では、本会より西山記念賞、俵論文賞、西山賞、山岡賞、日本金属学会より功績賞、谷川・ハリス賞、さらに、日本学術振興会功労賞、日本混相流学会技術賞を受賞され、平成10年には紫綬褒章、平成15年には勲三等旭日中綬章を受章されました。また、昭和46年より一年余り、英国ウエールズ大学客員教授、平成3年中国北京科技大学より名誉教授の称号授与、平成4年より二年近く英国ノッティンガム大学国際顧問教授ならびに、平成6年同大学よりドクター・オブ・サイエンスの名誉博士号授与、平成10年ルーマニア国クルージュ・ナボカ工科大学よりドクター・オノリス・コーザの名誉博士号授与などの極めて高い国際的評価も受けられました。

一方、学外では、文部省ならびに文部科学省学術審議会専門委員、日本学術会議金属工学研究連絡委員会委員、日本鉄鋼協会会長、理事、日本金属学会理事、全国大学材料系教室協議会副会長、(財)川鉄二十一世紀財団理事、(財)日新奨学会選考委員、(財)谷川熱技術振興基金評議員などの要職を歴任され、我が国の科学技術ならびに学協会の発展に貢献されました。

先生が鉄鋼科学技術と本会の発展に尽くされた多大なご業績に感謝し、会員一同衷心からの哀悼の意を捧げ、謹んでご冥福をお祈り致します。

平成21年3月
日本鉄鋼協会 会長 友野 宏